



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄証) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.3.16 No.3556

# 923ダイ改強行弾劾

## 今次闘争の獲得した地平

反公・運転保安闘争の  
継続・強化へ！

JR東日本は、三月一四日「九二・三ダイ改」を強行した。

われわれは、これを徹底的に弾劾するとともに、今次提案を裏切り妥結し、JRで働く労働者の権利・労働条件を売り渡したJR東労組を満身の怒りを込めて糾弾する。

今後も、動労千葉は、「九二・三ダイ改」を粉砕する立場から、団体交渉を強化し具体的問題点の抽出・説明・改善を求めて、反公・運転保安闘争を継続する。

「JR体制」に終止符を！

反転攻勢に討ってでる！

われわれ動労千葉は、「JR鉄道部門五万人体制」の初年度となる「九二・三ダイ改」阻止闘争を、二・二一ストの貫徹を通して国鉄労働運動の側から、「JR体制」の危機を突ききり逆転させる、反転攻勢の闘いに討ってでた。

今次闘争の獲得した地平は、①「JR五万人体制」＝「首切り出向攻撃」に対して、楔を打ち込む反合理化の闘いであり、「JR体制」による物も言えない労務管理体制を根底的に突破する展望を、全国鉄労働者に示したことである。

②機労結成から脈々と続く、労働組合としての使命である運転保安の決定的危

機を前に、動乗改悪と言う本質的に乗務員の特殊性を無ならしめる暴挙に対し、安全と人命を守る立場から、闘う労働の伝統を真に継承する者が誰なのか！  
その姿と闘う姿勢を全動力者乗務員の前に提示し、再建の意思を鮮明にしたことである。

新たな、(第二の)分割・民営化反対闘争と言うべき、「JR五万人体制」との闘いは、今次「九二・三ダイ改」阻止闘争から開始された。

すでに明らかになっているように、本社団交の中で、「今回はこの程度だが、次は…」と表明するJR当局、今やまさに「残るも地獄」の絵図が展開されようとしているのだ。

闘わなければ殺される。今回の提案の中にそれがはっきりと記されているではないか！

未来を切り拓く  
動労千葉の闘い！

### 第二七回動労千葉定期委員会

【日時】 三月一九日(木) 一三時より

【場所】 労働者福祉センター

「九二・三ダイ改」阻止闘争を総括し、九二春闘勝利、清算事業団闘争の勝利へ！本格的反転攻勢の闘いへ！

未来を切り拓く羅針盤を持つ者は、われわれ動労千葉しかない。  
「分割・民営化」の矛盾が、誰の目にも明らかな形で現出している今日、その「解決」を「JR体制」が握るのか、国鉄労働運動の側が握るのか、道は二つにひとつしかない。

ダイ改阻止闘争の  
勝利機軸に、  
総決起総行動へ！

二・二一ストの勝利を機軸に、清算事業団闘争勝利・全ての解雇者の奪還、強制配転者の原職復帰・運転士資格保有者の登用を勝ちとろうではないか！  
JRの「回転軸」を、逆に回すことができる力を、労働運動の使命にかけて集しよう！